



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
平成30年度 第6回理事会	H31.3.15 (金) 13:00~15:30 / 東京: 機械振興会館 5階 5S-2 会議室
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 栄野隆 (副会長) 松波俊宣、小原敏治、植田昌克 (理事) 辻勇、田中文彦、高橋丈助、井田斉昭、加納孝樹、植草雄一郎、中西浩、池滝重隆、</p> <p>(監事) 小松滋、矢都木力</p> <p>(来賓) 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤勉様</p> <p>(オブザーバー) 大阪精密機械(株) 田口哲也、(株)神崎高級工機製作所 喜多裕</p> <p>(事務局) 本島浩美 以上 17名出席</p> <p>(理事 11名、監事 2名、来賓 1名、オブザーバー 2名、事務局 1名)</p>
議 事	
<p>理事定数 24 名のところ出席理事 12 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき栄野会長、矢都木監事を議事録署名人に選任し、議長に栄野会長が就任の上、下記議事を進行した。</p>	
事項・資料	議題 / 決定・検討事項
<p><b>【来賓ご挨拶】</b></p> <p><b>【審議・承認】</b></p>	<p>ご挨拶 (経済産業省 製造産業局産業機械課 工藤勉課長補佐様)</p> <p><b>【資料】</b> 新たな外国人材の受入れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28~29 年度国庫予算による「鋼材評価法補助事業」に関する第 3 者評価委員会が開催され (3 月 13 日)、補助事業終了 1 年経過後の事業評価について報告、問題もなく承認された。要望事項として、鉄鋼メーカーにも展開していく他に、工業会基準に留まらず JIS、ISO に広げていくことを望む、などが上げられた。</li> <li>新たな外国人材の受入れにつき、制度開始にあたり改めて説明させていただく (資料参照)。</li> </ul> <p>ご挨拶 (栄野会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日は来期から理事になられる予定の大阪精密機械 田口社長、神崎高級工機製作所 喜多取締役のお二人にオブザーバーとして出席していただいているので、ご紹介する。</li> <li>最近のトピックスとして、80 周年記念事業に続いて、1 月に賀詞交換、2 月には若手経営者研究会を大久保歯車工業で開催、経営戦略の発表等を行い、意見交換を行った。更に、3 月になって経営研修会を菊地歯車(株)、浜井産業(株)にて開催、非常に内容の濃いものになった。</li> <li>来年度に関しては、景気の不安定要因あり、注視しながら冷静に進めていく年になると予想される。</li> </ul> <p>(1) 予算見通しと来年度事業計画 (各委員会事業計画)</p> <p>① 2019 年度事業計画・予算 (事務局)</p> <p><b>【資料 No. 1】</b> 2019 年事業計画、<b>【資料 No. 2】</b> 2019 年度予算収支予算書</p> <p>資料 NO. 1 について、事業方針、各委員会の実施事業について説明を行った。特筆事項のご紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営力強化事業、年 3 回の予定で、(1) 日立ニコトランスミッション/長岡歯車共同開催、(2) ベトナム(ハノイ)、(3) 小松製作所(予定)を計画する。</li> </ul>

- ・ JGMA ギヤカレッジについては、2019 年度の講義は全講義東京開催に変更する。
- ・ 広報委員会より、(1)生産統計は四半期に 1 回の頻度で情報収集しているが、毎月に変更する、(2)正会員 91 社中現在 45 社の集計しか行っていない状況を、正会員全社から情報を入手に改める、(3)現状生産高のみを指標としているが、“売上高に統一”、と変更し、工業会全体の動向を表す指標に改善して、報告するようにしたい。

資料 No. 2 について

- ・ 大きな変化点はギヤカレッジの東京開催への変更であるが、4 月理事会で詳細を報告する。

### ②過去 3 か年実績推移 (栄野会長)

【資料 No. 3】 2015～2017 年度実績集計 (金属性状評価法除く)

- ・ 収益増の要因としては、会費・入会金収入が大きく、この数年連続で会員が増えたことが主因となっている。費用減の要因は、事業の内容の見直し、其々無駄を省く無くすことにより削減した一方で、共通費が増えた。その主因は固定費に相当するが、事業に見合った事務局の負担も増えたため業務増・人員増により増加となった。会員勧誘、事業毎の見直しを継続する。

### ③平成 30 年会員動静 (事務局)

【資料 No. 4】 平成 30 年会員動静

- ・ 新入会員 5 社、退会会員 3 社で昨年より 2 社と微増となった。
- ・ 会員数 2020 年度 130 社を目標としたい。理事の皆さまにはご協力をお願いしたい(栄野会長)

以上①～③の説明、またその説明資料につき確認した結果、承認された。

### (2) JGMATE プロジェクトについて (池滝プロジェクトマネージャー)

- ・ 今年 PJ は測定評価装置を 1 台製作する目標を立て、JKA 補助金を利用して運用している。

装置は、現在 3 月中旬を完成目途で完成後メーカー立会いのもと検収する。

昨年製作した 1 台は応用化学研究所 (西日本)、今期製作した装置 1 台は品川重工(東日本)に設置を予定している。これにより西と東で 1 台ずつ検査が出来るようになるので測定サービスも行っていく。

今期作成した歯車工業会の装置(固定資産)の資産保管・サービスを今後行うこと、これを品川重工に委託することにつき賛成多数を以て承認された。

### (2) 歯車製造便覧経費の件 (小原副会長)

【資料 No. 5】 歯車製造便覧に関する報告と理事会承認願

- ・ 項目 2. 出版後の責任、3. 発行部数、5. 収支について其々審議し承認された。なお、本件に関して個別の原稿見直し費用、有浦先生が要した旅費交通費、事務消耗品費などの諸経費含んでいる。4. 販売計画は事務局と有浦先生に配布先、方法で誤認があった。パンフレットの作成後に、配布先、PR 方法について検討していくことにつき承認された。

### 【協議・報告】

(1) 2019 年度の事業スケジュール (事務局)

【資料 No. 6】 2019 年度日本歯車工業会年間予定表(案)

【資料 No. 7】 総会 旅程表

【資料 No. 8】 歯車工業会 EMO 視察団日程表(予定)

【資料 No. 9】 日本歯車工業会ベトナム人・エンジニアを知る旅

	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 No. 6～No. 9 を元に情報の確認を行った。</li> <li>総会は岐阜の下呂温泉、海外視察を欧州、経営研修会をベトナムで行う、理事会は12月のみ大阪開催に変更とする。</li> <li>年間日程で7/18-19に(株)日立ニコトランスミッション、(株)長岡歯車製作所での経営研修会を予定している。募集人数は45名を予定している。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ギヤカレッジ修了式のあり方について、修了生の出席割合が半数であったことを報告した。来年度以降は講演会と修了式を受講プログラムに入れる等、期末でも受講者が出席しやすい環境でご案内するよう工夫する必要がある。</li> <li>理事との懇親会と一緒になくても良い、等の意見もあり今後の検討をギヤカレッジ企画委員会で行う。</li> </ul>
<p><b>【添付資料】</b></p>	<p>資料 新たな外国人材の受入れについて</p> <p>資料 No. 1 2019 年事業計画</p> <p>資料 No. 2 2019 年度予算収支予算書</p> <p>資料 No. 3 2015～2017 年度実績集計（金属性状評価法除く）</p> <p>資料 No. 4 平成 30 年会員動静</p> <p>資料 No. 5 歯車製造便覧に関する報告と理事会承認願</p> <p>資料 No. 6 2019 年度日本歯車工業会年間予定表(案)</p> <p>資料 No. 7 総会 旅程表</p> <p>資料 No. 8 歯車工業会 EMO 視察団日程表(予定)</p> <p>資料 No. 9 日本歯車工業会ベトナム人・エンジニアを知る旅</p>
<p>次回開催日</p>	<p>2019 年度第 1 回理事会   2019. 4. 19 (金) 15:00～17:00 / 東京・機械振興会館</p>

以上

平成 31 年 3 月 15 日

一般社団法人 日本歯車工業会  
会長 栄野 隆



一般社団法人 日本歯車工業会  
監事 小松 滋



一般社団法人 日本歯車工業会  
監事 矢都木 力

